



開館10周年記念企画展



Iguanodontia gen. et. sp. indet.

恐竜たちの足音が聞こえる

Listening to Roars of Dinosaurs - From China and Japan -

[中国 そして日本]

2004年
7月17日(土)～
11月14日(日)

●7月17日(土)は午後1時から公開となります。

■開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休館日 毎週月曜日
(ただし7月19日、9月20日、10月11日は開館し、翌日が休館となります)

■入館料 大 人 720円(580円)
高・大学生 440円(300円)
小・中学生 140円(70円)
*()内は20名以上の団体料金です。
*未就学児、昭和13年4月1日以前に生まれた方、障害者手帳をお持ちの方は入館無料です。
*この料金には、本館内常設展・野外施設入場料が含まれています。
*毎週土曜日は、小・中・高校生は入館無料です。
(但し、夏休み期間中は除きます。)

■主催 ミュージアムパーク茨城県自然博物館
内蒙古自治区博物館(中華人民共和国)

■共催 NHK水戸放送局
■後援 外務省
中華人民共和国駐日本国大使館
ミュージアムパーク茨城県自然博物館友の会

■協力 ロサンゼルス郡立自然史博物館(アメリカ合衆国)
テババ・トンガレワ国立博物館(ニュージーランド)
中国科学院(中華人民共和国)

次回企画展のお知らせ

第32回企画展
茨城の自然を調べる 第3次総合調査
マンボウが夢みるブナの森
—茨城県北東部の自然 海・山・川 物語—
2004年12月11日～2005年2月27日

■同時開催

環太平洋博物館ネットワークと茨城県自然博物館のあゆみ

■記念イベント

- 自然教室「キャンプディノ～恐竜展示室の一夜～」
8月28日(土)～29日(日)
- 自然教室「恐竜の描き方講座」
9月12日(日) 講師:所十三氏(漫画家)
- 自然講座「世界の恐竜学者が答える恐竜Q&A」
9月19日(日)
開館10周年記念恐竜シンポジウム
「恐竜の足跡をたどって—中国 そして日本—」
9月20日(月)
パネラー:内蒙古自治区博物館、中国地質科学院
ベルギー王立科学アカデミー、福井県立恐竜博物館
- 自然観察会「ジュラ紀の化石をもとめて」
10月2日(土)～3日(日)
- 自然講座「内蒙古の大草原と人々」
10月10日(日)
- 環太平洋博物館国際シンポジウム
11月14日(日) 場所:つくば国際会議場

※上記イベントは全て事前申し込み制となっております。



ミュージアムパーク

茨城県自然博物館

〒306-0622 茨城県水戸市大井町100番地 TEL 0237-387000 (代表)
ホームページアドレス <http://www.natpre.tokai.jp/>

恐竜たちの足音が聞こえる

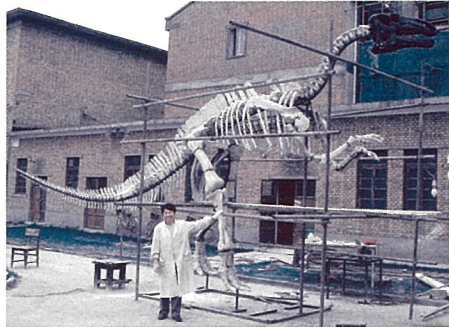
今回の企画展では、ここ数年間で内蒙古自治区から新たに発掘された体長10mのイグアノドン類や、羽毛を持ったドロマエオサウルス類などの恐竜を中心に、白亜紀のさまざまな生物を紹介します。また、多数の植物標本から、現在の豊かな草原の自然を紹介します。

併せて、国内の博物館の協力を得て、日本各地で発見されている恐竜類化石から、当時の環境を中国から日本へとたどります。

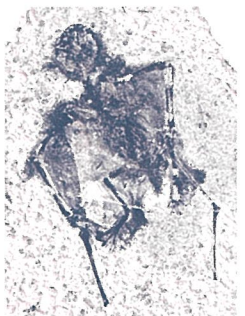


羽毛をもったドロマエオサウルス類
(所蔵: 内蒙古自治区博物館)

赤峰市寧城から発見された羽毛をもった恐竜や翼竜、原始的な哺乳類、鳥類、両生類、魚類、昆虫類、植物など、湿地帯に生息した生物群の化石を展示紹介します。



内蒙古自治区博物館で組み上げ中のイグアノドン類の全身骨格(上)と頭骨(右)
(所蔵: 内蒙古自治区博物館)



毛をもった翼竜
(所蔵: 中国地質科学院)



プロトケラトプス
(所蔵: 内蒙古自治区博物館)
ブシッコサウルスやプロトケラトプスなどの角竜の進化について展示紹介します。

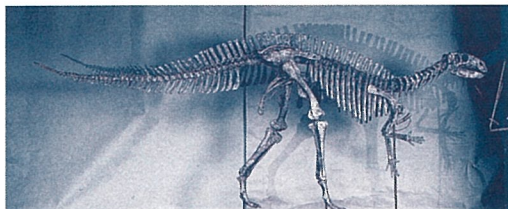


内蒙古自治区の大草原
内蒙古自治区の自然環境とそこに住む人々との関わりを紹介。なかでも草原、湿地、砂漠に生育する100種の植物標本にご注目ください。



フクイラプトル (所蔵: 福井県立恐竜博物館)

日本では14の道、県で恐竜化石が発見されています。今回の特別企画展では、12の道、県の恐竜化石を一挙に展示紹介します。



フクイサウルス (所蔵: 福井県立恐竜博物館)

同時開催 環太平洋博物館ネットワークと茨城県自然博物館のあゆみ

当館と友好関係にある内蒙古自治区博物館、ロサンゼルス郡立自然史博物館(アメリカ)、テバパ・トンガレワ国立博物館(ニュージーランド)からの資料と、当館の10年間の歩みについて展示紹介します。

※発掘当初はハドロサウルス類とされていましたが、頭骨などの研究が進むにつれ、現在はイグアノドン類と考えられています。



交通案内

- 車利用の場合
 - ・常磐自動車道谷和原I.C.から20分
 - ・古河方面から境町経由50分
 - ・下館方面から下妻市経由1時間10分
 - ・土浦方面から水海道市経由1時間

- 鉄道・バス利用の場合
 - ・関東鉄道常総線水海道駅から関東鉄道バス「岩井車庫行き」又は「岩井西高行き」乗車→「辺田三叉路」下車、茨城急行バス「野田市駅行き」に乗り換え→「自然博物館入口」下車→徒歩10分
 - ・東武野田線愛宕駅から茨城急行バス「岩井車庫行き」乗車→「自然博物館入口」下車→徒歩10分
 - ・東京駅八重洲南口から高速バス「岩井行き」乗車→「大根根カントリー入口」下車、茨城急行バス「野田市駅行き」に乗り換え→「自然博物館入口」下車→徒歩10分

*ペット及び遊具等の持ち込みはご遠慮下さい。

主な展示物

- ◆ 恐竜時代の内蒙古
肉食恐竜の連続している足跡★
- ◆ 恐竜パレード
イグアノドン類(全身骨格)★、バクトロサウルス(全身骨格)、ピナコサウルス(産出状態)など
- ◆ 角竜類の進化
プロトケラトプス、ブシッコサウルス、アーケオケラトプスなど
- ◆ 湿地の多様な生物群
羽毛恐竜(ドロマエオサウルス類)★、原始鳥類、翼竜、原始哺乳類(有胎盤類)★、昆虫、両生類など
- ◆ 日本の恐竜
フクイサウルス、フクイラプトル、ニッポノサウルス、モシリユウ、トバリユウなど
- ◆ テリジノサウルスのなかま
アラシャサウルス、内蒙古竜、テリジノサウルス
- ◆ 新生代の哺乳類
松花江マンモス、コエロドンタなど
- ◆ 内蒙古の自然
植物標本100種★など

★: 日本初公開